



多文化共生時代の福祉を考える

こころの家族

No.363

2025年5・6月

満開の桜の下でお花見（故郷の家で。8ページにも写真）



日韓国交正常化60周年に想う

「海の向こうに高知が見える」

韓国孤児の母と慕われた母・田内千鶴子は、戦後も韓国にとどまり夫が行方不明になった後も孤児たちの世話を続けたが、一人高知にいたる老いた祖母を案じていた。共生園の前の海を見ながらその思いがほとばしった。国交断絶の1958年頃のことだ。

祖母への思いが通じたのか、その後、終戦で引揚げた木浦同窓生たちが運動して千鶴子を日本に招いてくれた。

母はNHKテレビ「私の秘密」に出演して、祖母に再会した。このニュースは韓国にも流れ、朴正熙大統領の耳にも入った。そして、1963年8月15日独立記念日に、反日の韓国で、韓国政府は母に日本名・田内千鶴子で文化勳章国民章を授与した。

母は、「この賞をいただくのは夫です。私は夫の移し身です。韓国政府が日本と仲良くしたいという思いが込められています」と、日本の各界リーダーたちに伝え、お話しして廻った。母は、日本と韓国の交流を誰よりも願っていた。

1965年の日韓国交正常化に陰で影響を与えたことは間違いない。

「お母さまの国に行ってみよう」

あれから60年。母は、1968年に永眠した。

振り返ると、父・尹致浩が、子どもたちに笑顔をとほじまった音楽は、母を通して子どもたちを笑顔にさせ、母亡き後も合唱団となり、「お母さまの国に行ってみよう」という女の子の素朴な願いが日本に渡って交流する夢を実現させた。

共生園と再活院には水仙花合唱団と舞踊団があり、今も子どもたちに笑顔を運んでくる。

今秋には、この合唱団・舞踊団が故郷の家のお年寄りを訪ねてやってくる。

社会福祉法人こころの家族

尹基 (Tauchi Motoi)

両腕なき愛のゴスペルシンガー レーナ・マリア コンサート開催

——— 故郷の家・東京



生まれつき両腕がなく、左足は右足の半分しかないという大きなハンディをもつとせず、人々を魅了する愛のゴスペルシンガー、レーナ・マリアさんのコンサートが4月2日、故郷の家・東京の地域交流スペースで開かれました。

コンサートは「今日の日を

*

レーナ・マリア・デー」として故郷の家にお招きしたいですが、みなさんいかがですか？」との田内理事長の呼びかけに満席の聴衆から大きな拍手がわき起こる中で始まりました。

田内理事長は、あいさつの中で韓国から来日中の洪正吉牧師（ミラル財団理事長）を

紹介し、お祈りしていただきました。

続いて、レーナさんのプロフィールが6分40秒のビデオで紹介されました。レーナさんの生い立ちから水泳、歌、車の運転、料理などハンディをもつとせず日常生活を見事にこなす映像が流れると聴衆の心が完全に虜にされました。

日本語と英語で熱唱

レーナさんの歌った曲は、老人ホームの慰問コンサートということもあって5曲とアンコールの「ユーレイズミーアップ」を含めた6曲でした。

新曲「花も」と「二羽のすずめ」は日本語、「アメイジンググレイス」は日本語と英語、「すべてを通して」「明日にかける橋」「ユーレイズミーアップ」はそれぞれ英語で歌いました。曲の合間に新美幸子さんの通訳で、ご自分のお話をされ、聴衆に深い感動を与えました。

コンサートの半ばの質問タイムでは、入所者の黒川幹夫さんと、マンガ『レーナ・マリア』を読んで、ぜひレーナさんに会いたいと埼玉県から来た10歳の佐藤みつきさんが



「日本食は好きですか」「一番好きな歌は何ですか」などと質問し、なごやかなひとときとなりました。

サプライズ演出で 大盛り上がり

最後の曲「アメイジンググレイス」を歌い終わった時、

質問する入所者の黒川幹夫さん（左上）
高良順さんから花束贈呈（上）
バースデーケーキを前に夫妻。右は似顔絵を贈った入所者の播摩祐豪さん（左）



入所者の高良順（コヤンスン）さんから花束贈呈があり、この日誕生日を迎えたご主人のパトリックさんへのサプライズ！ 仮装した「ケーキくん」がバースデーケーキを運んで会場は大盛り上がり。

入所者の播摩祐豪さんが描いた似顔絵も贈られ、幸せそうなお二人を囲んだ写真撮影

（次ページへ）

タイムが特別に許可されました。他にも似顔絵を描いてきた佐藤みつきさん、いこいさん、原穂乃花さんもそれぞれに手渡しました。

最後に田内緑常務理事からレーナさんと来場者に心のこもった感謝のことがあり、愛と希望と感動の余韻を残して閉会しました。

故郷の家・東京の支援者で30年前の宇都宮でのコンサートの際もレーナさんに花束を贈呈した神倉いずみさんは夫の幸二さんと夫妻で参加、レーナさんとパトリックさんに和装のコートをプレゼントしました。

「レーナさんのコンサートは30年ぶりでした。以前よりも深く豊かな声色になり、最初の『花』の歌の『ここに泉わく』のところで夫は感動で大泣きしてしまいました。『神様は自分の思いよりもはるかに良い計画がある』という強い信仰を土台に、多くの人を励まされる生き様は、希望の光だと感じました」と、神倉さんはこの日の感想を語りました。



プレゼントされたコートを着たレーナさんとパトリックさん。後ろは神倉さん夫妻。

職員やご利用者が名演技

「老いと演劇のワークショップ」開催

故郷の家

高齢社会の課題に演劇の切り口でアプローチする「OiBookke Shi(オイ・ボッケ・シ)」の菅原直樹さんを講師に迎え、故郷の家(堺)で2月25・26日「老いと演劇のワークショップ」が開かれました。25日は職員向けに、26日はご利用

者と職員が役者となり、名演技の数々を披露。芝居を通して感性を揺すぶられる時間となりました。

「OiBookke Shi」は、俳優で介護福祉士の菅原直樹さんを中心に、2014年に岡山県和気町にて設立された劇団と介護ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを全国的に展開する団体です。

25日は41人の職員が参加。自分自身の身体と向き合うゲームから始まり、ほかの人との距離感を感じるゲームなどで職員はだんだん和やかな顔に。「食事の時間ですよ」と、迎えに来る職員とご利用者に扮した職員との寸劇では女優さながらの演

技を見せる職員も。26日は、15人のご利用者も一緒にジェスチャーゲームからスタート。

ご利用者さんが校長先生の役を

その後、ホールは卒業式の舞台となり、校長先生役の車椅子の男性ご利用者から一人ひとりに卒業証書が手渡され「仰げば尊し」の曲が流れると歌い出す人もいて厳粛で切ない場面に。職員とご利用者がチームを組み芝居を演じ、ほかのチームが芝居のテーマを当てるプログラムではチームごとに話し合いをし、にわか演劇が行われ白熱。「お正月」や「撮影現場」など難しいテーマも、ご利用者は生き生きと演じました。

菅原さんは、「認知症になっても身体が自由がきかなくなっても感性は残ります。その感性に寄り添っていたら。また、介護者の数だけ介護観も違います。2日間のワークショップを通して、故郷の家の職員たちがそれぞれご利用者に尊敬を持って向き合っている姿に驚きました」と、話していました。

卒業証書を渡すシーンを演じる



特技生かし施設内を華やかに演出



(25)

故郷の家
介護職員 藤野俊子さん

ご利用者が季節を感じながら明るい気持ちで過ごせるように。故郷の家の職員たちはそんな想いを込めて自分たちの手で施設内に四季ごとの装飾を施したり、内装をプチリフォームしています。100円ショップやネットでいろんなサイトを探し回り、格安で購入した材料にセンス良く工夫を凝らして、築40年近い施設の居住空間をカフェかホテルのように居心地良く楽しい空間に生まれ変わらせました。

今年3月には2階の奥に今流行の昭和レトロな空間も完成。施設長の名前を取って「純喫茶 やす子」(夜は「居酒屋 やす子」と名付けられたスペース)には職員の実家に眠っていたり、休日にリサイクル

ショップを巡って探し出した黒電話やステレオデッキ、レコードジャケット、リカちゃん人形など、昭和生まれには懐かしいグッズが飾られています。今回の「職員登場」は、そんな取り組みの中で、おもにディスプレイを担当した介護職員の藤野俊子さんです。

絵を描くことや、オリジナルのドールハウス

作りも得意な藤野さんは、これ

までも休みの日に自宅で何時間

もかけてハリーポッターの世界

観を表現した精巧なドールハウ

スや、100均の消臭ビーズを空

き瓶に入れ、まるで箒に乗って

空中を飛んでいるかのような「魔

女の宅急便」の

スキなどを制作

し施設内にディスプレイ。面会

に来られたご家族や、出入りの



ドールハウスを手に入れた藤野さん。2階の奥にできたレトロなスペースです。

業者さんまでもが作品に見入って「ステキですね!」と笑顔になられます。

父の介護を機に資格取得

福祉の世界とは無縁だった藤野さん。40歳の頃に、父・弘さんが脳梗塞で倒れ長年入院を繰り返す中、母・美智子さんと共に介護。もともと良い介護をしてあげたいと、ヘルパー2級養成講座(2013年に廃止され、介護職員初任

者研修に)に通い資格を取りました。病院や他事業所で介護の仕事に携わり16年前、故郷の家に入職。その後、介護福祉士の資格を取得しました。

絵の才能や器用さは美智子さんゆずり。1歳年上の兄・俊実さんも絵を描いたり工作が大好きで、小説の挿絵を依頼され掲載されるほどのです。その才能の遺伝子は、孫たちにも引き継がれ、絵を描くことが大好き。少し前に孫が学校で描いた「カメレオン」の鮮やかなグリーンを基調とした繊細な色使いに藤野さんは「すごい!」と唸ったそう。

故郷の家の魅力について藤野さんは「ここは職員の身内がご利用者さんとなつて(施設に)来てくれます。これは、職員同士が信頼し合いこの施設が安心して身内を預けられると確信している証です」と。兄家族と暮らす母・美智子さんは93歳になり「入居が必要になつたら真っ先に故郷の家に申し込みをする!と決めています」と笑顔で話します。

ブンネ・メソッドセミナー

堺・京都・東京で

スウェーデンで生まれた「誰もがすぐに楽しめる楽器」ブンネ楽器を使ったブンネ音楽療法。今年も下記の日程でブンネ・メソッドセミナーが開かれます。ブンネ楽器の楽しさをぜひ、この機会に。

5月23日(金) 故郷の家(堺)	いずれも	14:00 ~	ブンネ・メソッドとブンネ楽器に関するセミナー
5月24日(土) 故郷の家・京都		14:20 ~	実際にブンネ楽器を使って演奏に挑戦
6月28日(土) 故郷の家・東京	参加無料	15:15 ~	プロミュージシャンによるジャズコンサート

お問い合わせは各施設へ。

▶故郷の家(堺) TEL 072-271-0881 ▶故郷の家・京都 TEL 075-691-4448 ▶故郷の家・東京 TEL 03-3644-0555

「愛の黙示録」鑑賞会を開催

――28年の時を経て色褪せない永遠のテーマ

「故郷の家・東京」の定期行事として毎月第1土曜日18時から「映画鑑賞会」が始まりました。第1回の開催は3月1日、上映作品は「愛の黙示録」です。

「故郷の家・東京」の職員107名にアンケートを取りました。映画「愛の黙示録」を見たことのある人28名、見てない人79名という結果。『ごころの家族』のルーツが描かれている「愛の黙示録」は是非とも見ていただかなければなりません。映画製作に携わった一人として切に思います。

3月1日は地域の方々にも公開。職員の仕事のシフトを考慮して3日～7日までの5日間の開催。職員43名、その他入居者の方、ご家族、地域の方々と合わせて18名、合計61名が鑑賞し、涙を流しました。

感想文を紹介します。

「人間の脆さや弱さ、そして強さと素晴らしさが、映画のどの場面にも『愛』という形で表現されていました。私は、故郷の家の職員になった事に感謝しながら社会のために役立つ人間になろうと思いました（職員）」

「戦争とは、いつの時代でも深い傷と悲しみがつきまとう。個人個人一人一人の人間としても一生消えない深い傷が残ってしまう。でも、人間同士の『きずな』は戦いを超えて深い結びつきができる。とても感動した」（ミヤンマー出身・介護職）

「現理事長が『ごころの家族』を創設す

るに至った理由のようなものが、書いた物よりはるかに深く良く解りました。幼少期の寂しく辛い思いが、やがて大人になり家族を持つようになっていく中で肥しとなつて『ごころの家族』を結実させたのだと思います（職員）

「すごく感動しました。映画を見ながら悲しくて涙が止まらなかった。お母さんは素晴らしい人だった。私たちも人を助ける事に協力できたら、すごく良いことだと思います」（ミヤンマー出身・介護職）

「私は理事長と同じ83歳。生い立ちによつては理事長と同じ体験を経ていたかも知れませんが、日韓の悲しい歴史を改めて思い起こしました。少ない残りの人生は、差別と偏見を持たぬよう日々注意しながら生きていこうと思う。石田えりが『今日からお母さんはあなたたちだけのお母さんではなく、みんなのお母さんになる…』と子どもたちに言い聞かせる凛とした演技は、よかった」（入居者さん）

紙面の都合上、全部を紹介できないのが残念ですが、作品公開から約30年。そこで描かれているテーマが今『ごころの家族』の理念となつて脈々と受け継がれています。感想文を読みながら私も涙しました。自画自賛で、すみません。

（「愛の黙示録」監督補／「故郷の家・東京」施設長・高橋千津子）



トッポギ 떡볶이

故郷の家・京都 管理栄養士 杉野 明子

ヘルシーな
韓国料理

トッポギとは、うるち米を原料とした餅を甘辛く炒めた韓国料理です。韓国語で、「トッ（餅）」と「ポギ（炒め）」の意味があります。コチュジャンをベースとした甘辛い味付けは、屋台料理の定番で、現在ではおやつやおつまみとしても親しまれています。2000年代の韓流ブームとともに日本でも有名になりました。韓国定番のトッポギをぜひお試しください



作り方

- ①トッポギは水に浸けておく。
- ②人参は皮を剥き、1 cm × 4 cm程度の拍子切りにする。オデンは縦半分に切り、2cm × 4 cmに切る。
- ③コチュジャンソースを作る。※の材料を全て混ぜ合わせる。
- ④鍋に①のトッポギと②の人参を入れ、浸るくらいの水（分量外）を加え、中火で水から茹でる。
- ⑤④が沸騰し、人参が軟らかくなったら、②のオデンを加え、加熱する。
- ⑥③のソースを加えてひと煮立ちしたら、味を調える。
- ⑦仕上げにごま油を加える。
- ⑧⑦を器に盛り、お好みでいりごま、小口切りの青ネギを散らして出来上がり！！

※辛さが苦手な方やお子様には、牛肉を入れ、コチュジャンの代わりに醤油で味付けした宮廷トッポギも美味しく食べられます。チーズを入れれば、チーズトッポギに。好きな具材でアレンジしてみてください！！

材料（5人前）

- ・トッポギ…………… 200 g
- ・人参…………… 20 g
- ・オデン（韓国練り物）… 50 g

※コチュジャンソース

- ・コチュジャン…………… 35 g
- ・薄口醤油…………… 5 g
- ・酒…………… 6 g
- ・牛肉のダシダ（韓国牛肉粉末）0.5 g
- ・砂糖…………… 8 g
- ・水…………… 5 g
- ・ごま油…………… 3 g
- ・いりごま（白）…………… 少々（お好みで）
- ・青ネギ…………… 少量（お好みで）

日韓国交正常化60周年を迎える皆様に心から感謝申し上げます。

私は日本人である。母・田内千鶴子が一人娘で父・尹致浩が田内家に入った。在韓日本人ソーシャルワーカーとして社会福祉事業を実践して59年になる。国交正常化の1年後から日本と韓国を往来しながら木浦、ソウル、済州、そして東京、京都、神戸、大阪、堺市など8つの都市で17の福祉施設を経営、韓国には共生福祉財団、尹鶴子共生財団、済州共生、日本にはこころの家族、4つの社会福祉法人を設立した。

私が目指した福祉は「夢・自立・文化」

第一は夢です。「夢を持ちましょう。孤児でも、お金がなくても、夢は持てます。」

木浦で子どもたちに話してきました。

第二は自立です。『主婦の友』1961年4月号に「私の悩みは職場もないまま共生園を出ていかなければならない私の娘や息子たちの将来の問題です。その子らに職場を与えるのが唯一の望みです」と田内千鶴子の手記が載っている。私自身、共生園で一番悩んだのは卒園生の職場でした。

ソウル特別市が運営していた2つの訓練院を任せられ、38年間で5万人（青少年1万8千572人、成人3万3千923人）を超える青少年や市民が技術を身につけました。

「皆さんが習得した技術で自立して、貧困を追い払い、税金を払う市民になってください。自立、自己実現は最高の福祉」と訴えました。



①

そして第三は文化福祉です。堺、大阪、神戸、京都、東京にできた特別養護老人ホーム故郷の家では、食卓にキムチと梅干しが並び、ハンゲルと日本語が聞こえます。大切なのは違いを認めること、違いが恵みなのです。

地球には人間の子が生きる権利がある。

母が夢見ていた専門家を育て、孤児たちが堂々と生きられる社会づくりのために、「国連世界孤児の日」の制定を推進してきた。これからの日韓両国は、日韓を超え、人類の未来の主人公である1億5千万の孤児たちのために協力してほしいと、当時の韓日議連の李洛淵副会長と日韓議連の渡部恒三会長に趣旨を説明した際、渡部会長はこれに賛同し、「私たち日韓に関わる者として、このような美しい思い出を残したい」と感激された。それ以来10余年、頑張ってきました。世界は一層厳しくなつて、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナの衝突が続いている。

私の夢は紛争地域、貧困地域の青少年が自立すること。

孤児、難民、未亡人、障害者が増えていきます。彼らを社会に貢献できる人に育てることが夢・自立・文化から始まった平和福祉ではないかと思っています。

私に大きな影響を与えた4人の方を忘れることはできません。

森山愉先生（牧師）

共生園の博士と言われる程、詳しく構って下さった。

菅原文太先生（当時の名優・在日韓国老人ホーム作る会募金委員長）
「俺も助けになるのかな」と腕をまくって下さった。

金山政英先生（元駐韓日本大使・韓国共



②



▲1976年、椎名悦三郎外務省大臣（当時）は自宅で水仙花合唱団を迎えた。写真中央に衆議院議員椎名氏と田内基。最後列に椎名素夫日米経済協会理事長と小野頭中央共同募金会局長も。



③



左から金鍾泌首相、小林幸子さん、小淵総理、田内緑



前列中央に二階俊博氏



④



⑥



故郷の家の暮らし

生福祉財団理事長）
戦後の日韓関係は凡て氏から始まり、穏やかに定着した。

原田 憲先生（衆議院議員、運輸大臣・郵政大臣・経済企画庁長官）
父のような温情で、日韓関係を扱って下さった。

*国家再建最高会議の朴正熙議長（大統領代行）から田内千鶴子の話を聞いた大野伴睦先生が当時の若い議員らに「これからは田内さんのような方を応援しなさい」と話されたと原田先生から聞いています。

「共生」には無限大の情けがあり、広い度量があります。それは温かさです。

これからの100年も共に生きる「共生」の世界を目指してほしい。「共生！」なんと偉大な言葉なのか。それを100年前から実践した尹致浩を尊敬します。そして尹致浩、田内千鶴子の息子として生まれたことに感謝しています。

社会福祉法人こころの家族
尹基 (Yuchi Moto)



共生再活院舞踊団

目韓国交正常化60周年を記念して

◆田内千鶴子の生涯がミュージカルに

韓国国立劇場で田内千鶴子の生涯を描いたミュージカル。公演が決まりました。2025年12月11日～14日

◆水仙花合唱団と共生再活院舞踊団が来日公演

共生園のこどもたちによる水仙花合唱団と共生再活院舞踊団を、日韓国交正常化60年記念事業として迎えます。今秋、来日公演予定。

1928年 10月15日 尹致浩が共生園設立

1936年 田内千鶴子、共生園で音楽の奉仕活動始める

1938年 尹致浩と田内千鶴子 結婚 =①

1951年 尹致浩、朝鮮戦争の混乱の中、光州に食糧調達に出かけたまま行方不明に。夫の遺業を継いだ田内千鶴子はあらゆる困難を乗り越え、3000人の子供を育てた。

1963年 国交正常化前の韓国政府が田内千鶴子に「文化勳章国民章」を授ける

彼女は我が民族の血一滴受けていない日本人だ。だが、南北戦争のさなか、私たちの子どもを育ててくださった。人間愛、いや人類愛です。（朴正熙大統領）

1964年6月 田内千鶴子、韓国民のあたたかい心を日本に伝えるために来日。岸信介元総理から励ましを受ける=② 10月、「田内さんとその事業を励ます会」が生まれた

「玄界灘の波が高まるようなことが起きた時、両国の真ん中で波を鎮めることが出来るのは、あなたです」（田内千鶴子が岸信介元首相から送られた言葉）

1965年6月22日 日韓基本条約調印式

1967年 田内千鶴子、日本国政府より「藍綬褒章」を受章

1968年 田内千鶴子、56歳の誕生日に逝去。木浦市最初の市民葬。尹基が園長に就任

1969年 駐韓日本大使・金山政英が共生園を訪問

1970年 韓国の京郷新聞から「オモニの塔」寄贈
1971年 日本航空(JAL)、共生園に児童宿舍「JALハウス」を寄贈「水仙花合唱団」が初の来日公演

1975年 共生園に児童宿舍「大阪愛の家」と「大一食堂」寄贈

1982年 東京に「共生福祉財団 東京事務所」を開設

1984年6月 尹基、朝日新聞論壇で在日韓国老人ホームを提唱

1985年 在日韓国老人ホームを作る会発足。
初代会長に元駐韓日本大使・金山政英氏

1988年9月 社会福祉法人こころの家族設立

1989年10月 「故郷の家」開設=③

1992年 故郷の家で韓国の施設職員や学生を対象に、国際社会福祉研修始まる。
以来、35年間で参加人数は1000人におよぶ

1994年6月 大阪市生野区に故郷の家・介護サポートセンター大阪開設

1995年 日韓合作映画「愛の黙示録」公開

1997年 高知県に田内千鶴子生誕之地記念碑を建立

1998年 田内緑が共生園園長に

1999年 日本大衆文化の解禁第1号として「愛の黙示録」が韓国で上映される

2001年2月 「故郷の家・神戸」開設

2009年4月 「故郷の家・京都」開設

2012年10月31日 日韓で「国連『世界孤児の日』」制定推進大会

2015年3月 サントリーホールで日韓国交正常化50周年記念
白建宇ピアノリサイタル開催

2016年10月17日 「故郷の家・東京」竣工=④

「故郷の家は日韓両国の和合の場となっている」（故郷の家・東京竣工式で、故金大中夫人・李姬鎬女史の言葉）

2016年10月 高知県と全羅南道が姉妹交流締結

2017年6月 二階俊博自民党幹事長が木浦共生園を訪問=⑤

2018年10月 国連「世界孤児の日」制定請願
「ニューヨーク世界大会」開催

2023年10月 尹錫悦大統領夫妻が共生園95周年記念式典に参列=⑥

共生園が韓日両国友情の象徴として、さらに発展することを願います（尹錫悦大統領）

2023年11月 木浦市民感謝碑を共生園前広場に建立

2024年1月 韓国・共生福祉財団理事長に田内文枝が就任



桜の下で乾杯！しました



満開に咲いている施設内の桜の木の下で、お花見を楽しみました。お天気はいいけれど、少しまだ肌寒いのでしっかり防寒し、好みの飲み物でにぎやかに乾杯！

理事長の飛び入り参加で皆さんびっくりされていましたが、笑顔でたくさん記念撮影することが出来ました（表紙にも写真）。



面会に来てくれたご主人へのプレゼント

真心込めて編みました！

3階のご利用者様。ある日の面会時のご様子です。娘さんと一緒に面会に来てくれたご主人に、なんと利用者様が手編みのマフラーをプレゼント。

お手紙も渡されていました。ご主人も、思わぬプレゼントにびっくり！感激で胸がいっぱい、の面持ちでした。これからも末永くお幸せに：また面会に、来て下さいね。

堺



神戸



甘酒を味わいながらひなまつり

3月3日ひなまつりの日、1階のホールにて、ひな人形をみながら甘酒を味わいました。

甘酒を飲みながら歌を歌ったり、ひな人形の前で写真を撮ったりして、ひなまつりを楽しみました。



近くの公園でお花見

暖かさが少しずつ感じられるようになってきた4月上旬、近くの公園に花見に行きました。参加されたご利用者様は温かいお茶を飲みながら、満開に咲いたきれいな桜を見て楽しみました。



キッチンカーは大人気

2月から月1回、第3水曜に、故郷の家・東京にキッチンカーが来るようになりました。
入居されているお母さんにソフトクリームを食べさせてあげたい



というご家族の声がきっかけです。そこでキッチンカーに来てもらうようにしました。

始まってみると大盛況！メニューはソフトクリームの他にクリームサンド、チュロスも。

3月のこの日はあいにくすごく寒かったのですが、地域の方々もどんどん来られ、売り切れになるくらい人気で、行列が引きも切らない感じでした。こんな寒いのにソフトクリームを喜んで召し上がる利用者様の姿が印象的でした。

映画観賞会も開始

3月から毎月1回、映画観賞会も始まりました。第1回は「愛の黙示録」でした。詳細は5ページに。



東京



京都



移動販売でお買い物



1月より、毎週土曜日に「株式会社ダイエー様」による移動販売がスタートしました。施設の駐車場に販売車が到着し、販売開始のアナウンスが流れると、ご入居者・職員が集まってこられます。

お菓子やパン、果物、惣菜、日用品などと種類も豊富で、「今日はなにがあるの？」「たくさんあるなあ」等、店員さんに聞きながら、じっくりとお好きなものを手に取り、お買い物を楽しんでいます。果物が人気で、最近では「もういちごの季節か。春が来たんやね」と商品からも季節を感じていただけている様子。最後にはご入居者だけでなく、職員も買い物を楽しんでいます。

4月からは陶化学区自治連合会と協働して、買い物に困っている地域の方々にも活用していただいています。

ケナリ・ミナリコーラス

2月8日に「ケナリ・ミナリコーラス隊」の皆さんにお越しいただき、素晴らしい歌唱を披露していただきました。

ケナリコーラスの皆さんは愛知県、岐阜県在住のオモニ達です。毎週土曜日に集まり、クラシック、オペラ、民謡等を学び、練習に励んでおられます。自分達の発表会を実現し、全国の在日施設を慰問することを目標に掲げておられ、今回、ケアハウス入居者様のご家族からのご紹介もあり、故郷の家・京都に来ていただきました。

ミナリコーラスは男性5名で来所され、低音の素晴らしい歌唱を披露していただきました。初めて聞くような曲から、最後はアリラン・トラジなど、ご入居者が知っている曲まで一緒に盛り上がることで、参加された入居者様はたいへん喜ばれていました。



■ 共生園（養護施設）

ソウルで楽しい冬休み！

期間 2025年2月16日～28日

対象 児童 35名・引率者 12名

冬休みにソウルの観光名所を巡る旅に行ってきました。

楽しみながら学べる場所として、朝鮮王朝時代の宮殿である景福宮、国立中央博物館、ソウルを代表するランドマーク・南山タワー展望台に行きました。子どもたちが大好きなロッテワールドや韓国伝統の生活様式を見られる龍仁の韓国民俗村、世界文化遺産に登録された公州の麻谷寺にも行き、2泊3日で充実した歴史探訪ができました。



■ 共生再活院（知的障害者施設）

姉妹でプリクラ

施設で一緒に暮らしている姉妹が、特別な春の外出に出かけました。

ブランチカフェでおいしい食事とお茶とおしゃべりを楽しみ、お互いの好みを尊重しながらカラフルな春の服を選んだりしているうちに、二人の距離がぐっと近づきました。最後にかわいいお揃いのTシャツを着て、幸せな時間をずっと大切に残しておける特別なプリクラも撮りました。

■ 木浦障害者療養院（重度障害者施設）

春！ 自分のためのフラワーアート



「The 価値 Flower」というお花屋さんが、施設で暮らしているご利用者を招いて、毎月フラワーアート体験をしてくれています。色とりどりの花を使って、記念日や季節ごとにきれいなフラワーアートの作品を自分で作れるよう、技術や材料を惜しみなく提供してくださいます。

花を触り、五感を研ぎ澄ます経験をすることで、体と心と精神が癒されています。花より美しい笑顔もあり、みんなが幸せな時間です。



皆様のご支援に感謝申し上げます



2025年2月～2025年3月 寄付合計 2,418,911円

堺 168,041 円
大阪 0 円
神戸 19,957 円

京都 680,920 円
東京 168,672 円
法人 1,381,321 円

2025年2月～2025年3月の寄付者 (敬称略)

佐藤 美津子	観寺 伊津美	吉澤 まゆみ	大阪府共同募金会	代表取締役
柳川 良子	金 優	多田出 佳代子	堺地区募金会	川島 忠義
小寺 顕一	株式会社スポーツ寿苑	単立キリスト教八街グレ	藤原 一臣	松下 令子
財団法人 聖バルナバ	代表取締役社長	イス教会 申 鉉錫	星田 正雄	堺募金箱
病院サマリヤ会	鄭 貞子	植西 正和	金氏高麗人参株式会社	佐藤 友美
ベン株式会社	藤原 興	オートプロ島田	鈴木 仁	故郷の家東京 募金箱
いつくしみの聖母会	多胡 元喜	島田 隆男	北脇 志郎 様 要子	カトリック マリスト修道会
カルメル修道院	河 正子	柚 浩二	株式会社ヤマエンタープ	瀧澤 織衣
菅野 俊美	峯岸 義則	浅野 和子	ライズ 代表取締役	南区認知症サポートネット
太田 清孝	岩田 卓三	横路 由美子	池 正淑	ワーク
岡 真由美	田内 基	李 守陳	金 東春	吉田 津志子
朝陽不動産株式会社	田内 緑	李 善恵	「ハートサービス運動」	門川 都
代表取締役	高林 實結樹	ながやま歯科 院長	募金箱	宮本 浩吉
朝陽 高吉	東京聖書教会 李 清吉	永山 成大	枝川 愛の教会	南保健協議会連合会
匿名希望	角替 豊	小笠原 玲子	有限会社テラフ貨物店	金 悠七
小林 四郎	ヴォーリズ・キリスト教	門川 大作	社会福祉法人	権 容徳
松岡 虔一	平和センター学校法人	中村 啓子	ボムン福祉会	新井 先子
中野 敏彦	ヴォーリズ学園	藤田 裕之	株式会社グローバル	

2025年2月～2025年3月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではございません。ご了承ください)

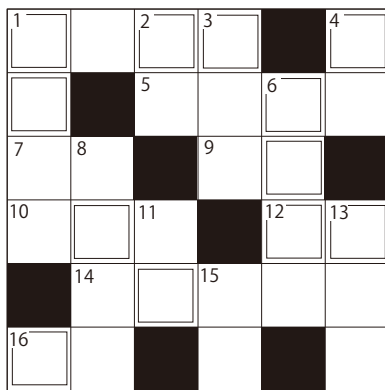
■故郷の家(堺)	■故郷の家・神戸	原田 春子ご家族	■故郷の家・東京	大類 アサ子ご家族
宮崎 泰ご家族	野口 ミチエご家族	山田 富子ご家族	金 淑貞ご家族	小船井 ハツイご家族
岡田 英彦ご家族	在日韓国医師会	野田 頼子ご家族	魚井 英子ご家族	吉朝 つぎえ
北山 サチコご家族	李 光喜	川口 志づ子ご家族	権 再南ご友人(教会の	阿部
武吉 文子ご家族	山崎 美雄ご家族	横道 日出次ご家族	方)	沖
山本 耕一ご家族	淡田 眞美子ご家族	松下 すみ子ご家族	柳澤 たけ子ご家族	式守 悦子ご家族
着本 アサ子ご家族	嶺山 廣慶ご家族	民谷 勝ご家族	佐瀬 絹繪ご家族	海發 孝子ご家族
松葉 恵美子ご家族	仁川空港教会	安東 千代子ご家族	田村 京ご家族	新井 利子ご家族
あゆみ介護センター	上田 順子ご家族	坂本 信一ご家族	唯根 ヒロ子ご家族	大野 三子ご家族
ミヤコ在宅医療	神戸朝日病院	崔本 和男ご家族	瀧澤 トミ子ご家族	株式会社CHUNG MIL
松本 光恵	■故郷の家・京都	田花 安子ご家族	小林 美智子ご家族	Ohana治療院
米田 眞理子	木村 文子ご家族	ケナリコーラス隊	平松 節子ご家族	金高院長
工藤 美和子	高島 伯奈子ご家族	エコロジカルプレゼンツ	井上 かちをご家族	
	正木 清子ご家族	同志社大学教員一同	播摩 祐豪ご家族	
			中島 榮美	

2025年2月～2025年3月の来訪者・ボランティア (敬称略)

■故郷の家(堺)	■故郷の家・神戸	朴 佳子(神戸教会)	(コンサート)	■故郷の家・東京
泉北チャペル	サランの会	呉 静子	「懐メロ聴くの会」4名	中島 榮美(生け花)
泉北恵み教会	民謡欣秀会	尹 孝仁(神戸教会)	(カラオケ)	
松本 光恵	関 京子		京都PANA-ALC	
小田 ヒターナ	天道教	■故郷の家・京都	3名(傾聴ボランティア)	
	河 蓮紅	ケナリコーラス隊 8名	SKY傾聴ボランティア	
	李 信子(神戸教会)	(コンサート)	1名(傾聴ボランティア)	
	金 文子	ミナリコーラス隊 5名		

◆ クロスワードパズル ◆

※前回の答えは「仰げば尊し」でした。
【ヒント】もう行った？



二重マスの文字を組み合わせて
できる言葉を考えてください。
↓ タテのカギ
①「相互」、「障壁」と
いえば。
②花の都。
③普通じゃない様子。
④悪いことをしたら
——があたりか
も？
⑤雑草対策。
⑥地震・水害などの
災害を受けた土
地。
⑦「撰氏」や「華氏」で
表されることが多
いです。
⑧この花粉で困っ
てる人も…。

→ ヨコのカギ

- ①グラスを掲げて。 晴らす。
⑤都会の中のオアシス。 ⑩くわしいこと。——面談。
⑦良いことと悪いこと。—— ⑫——をつぶす、——に泥
を問う。 をぬる、——が広い…。
⑨物事が思いのままになら ⑭すい臓で分泌される。
ないでつらいこと。——を ⑯落語などの結末の部分。

お詫び 前回のクロスワードパズルでヨコのカギ③「手や指でツボを刺激します」が抜けていました。お詫び申し上げます。

プレゼント



正解者の中から3名さまに、鮮やかな色使いが楽しい韓国製ストラップをプレゼントします。

応募は、クロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、はがきなら〒590-0142堺市南区檜尾3360-12「故郷の家・クイズ係」へ、メールでの応募はnews@kokorono.or.jpへどうぞ。6月10日締め切り。

本誌をお読みにになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。お待ちしております！

「故郷の家」では共に働く仲間を募集しています！

「職員同士が信頼しあっていて、ここなら身内を安心して預けられると思える。故郷の家のすばらしいところです」(介護職員のFさん=今号4ページに登場)



- ◆人と地域に寄り添う、心温まる仕事です
- ◆文化的なプログラム(行事)も豊富で楽しい職場です

施設見学 随時受け付け中です！

お問い合わせ先:大阪府堺市南区檜尾3360-12
法人本部事務局 松下宛

TEL:072-271-0881 FAX:072-271-5474

メールアドレス:honbuzimukyoku@kokorono.or.jp

共に希望に生きる

人は、誰しも懐かしい思い出に満ちたふるさとをもっている。ふるさとは、生まれ育った所であると同時に「帰る」所であろう。人生の喜びと悲しみ、栄光と重荷を背負って帰り着くところがふるさとであれば、なんと素晴らしいことではないか。そこでは、経験を分かち合い、共に希望をもって生きることができる。(阿部志郎・神奈川県立保健福祉大学名誉学長)

こころの家族のサポーターになってください

- A) 愛の寄付金 自由な金額
B) 遺贈寄付 自由な金額
C) 相続寄付 自由な金額
D) 賛助会員 月 1,000 円(年 1 万 2 千円)
E) 奨学会会員(留学生や孤児・障害児支援) 月 5,000 円(年 6 万円)
F) 1%会員(所得、売上、祝儀、遺産、感謝)
G) 1 坪会員(施設の新築・改築や環境改善支援) 30 万円

ご送金の方法

郵便振替 □座番号: 00940-0-329280
加入者名: 社会福祉法人こころの家族
銀行振込 銀行名: 三菱 UFJ 銀行
支店名: 光明池支店 普通 1052623
口座名義: 社会福祉法人こころの家族

お気軽に
お問い合わせ
ください。

故郷の家のご利用相談や
寄付。困っている高齢者、
留学生、外国籍の方も

■故郷の家(堺) 辻野やす子(施設長)
大阪府堺市南区檜尾3360-12 TEL 072-271-0881
ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>

■故郷の家・大阪 田中久美子(主任ケアマネ)
大阪府大阪市生野区中川2-4-26 TEL 06-6753-6580
ブログ <http://kokyosaka.blog79.fc2.com/>

■故郷の家・神戸 朴正米(施設長)
兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555
ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>

■故郷の家・京都 藤原一臣(特養施設長)、金滋榮(ケアハウス施設長)
京都府京都市南区東九条南松ノ木町47 TEL 075-691-4448
ブログ <http://kokyokyoto.blog41.fc2.com/>

■故郷の家・東京 高橋千津子(特養施設長)、塩川優子(ケアハウス施設長)
東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555
ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

本法人は統一教会とは関係ありません

